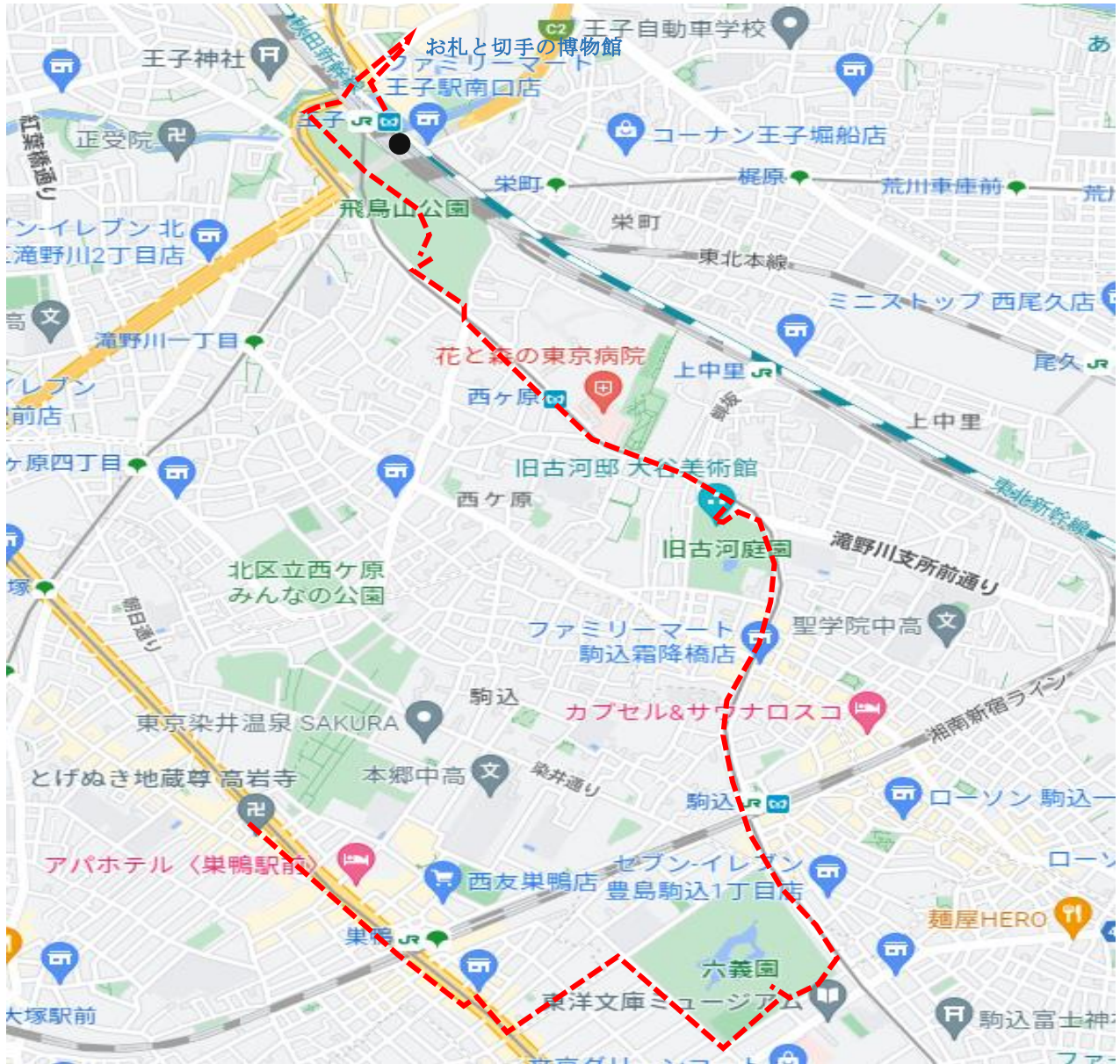


2023年2月3日(金)、寒波襲来で寒い一日でしたが、皆さん防寒対策をしっかりとしてのハイキングを楽しんできました。徳川吉宗が庶民に花見を楽しめるようにと開放した飛鳥山公園、明治の政治家・陸奥宗光の邸宅で、古河財閥の所有になった古河庭園、徳川5代将軍綱吉の側用人を務めた柳澤吉保が設計した六義園、心とからだのとげをぬくお地蔵さまとして知られた高岩寺を巡るハイキングでした。

今回の参加者は10名でした。コースは下図の赤点線のルートで約8kmコースでした。



9:45 王子駅に集合、皆さん防寒対策ばっちり



9:46 都内唯一の路面電車・都営荒川線 (王子駅前-早稲田間)

# お札と切手の博物館

BANKNOTE & POSTAGE STAMP MUSEUM



9:50 お札と切手の博物館  
10:00 展示物を見る皆さん

「お札と切手の博物館」ロゴの文字は、お札の名称や額面数字などに使われている、「大蔵隷書(おおくられいしょ)」文字の両側の模様は、お札に使われ彩紋(さいもん)と呼ばれる。展示室では様々な資料を展示し、お札の歴史、偽造防止技術などについて解説している。



来年発行予定の新札の肖像画のコンテ画の展示。  
渋沢栄一(1万円)、津田梅子(5千円)、北里柴三郎(千円)



お札に使用されているホログラム(光の方向で現れる図が変化する)の状況を確認するSさん



10:25 あすかパークレール入口  
標高差 18m 乗車時間 2分 無料



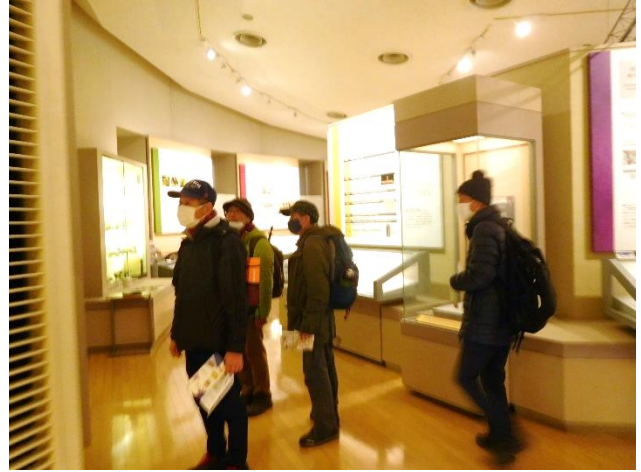
10:30 都内で一番低い山(飛鳥山・標高 25.4m)の  
山頂標識を見る皆さん

8代将軍徳川吉宗が庶民の遊興地にと桜を植え、江戸随一の花見の名所になる。明治6年、上野公園などと日本最初の公園として認定。その後、渋沢栄一は、設立に尽力した王子製紙(設立当時は抄紙会社)の工場を眼下に見守ることができる飛鳥山に、1879年邸を構えた。



10:50 紙の博物館へ到着

日本の『洋紙発祥の地 王子』について、そのきっかけを作った「抄紙会社」(後の王子製紙王子工場)など近代製紙産業の歴史や、紙の原料と製造工程、多様な種類・用途、製紙業界の取組みなど紹介。

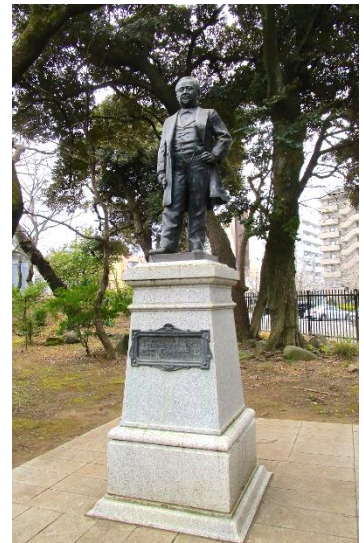


紙のひな人形の展示



11:20 旧渋澤庭園

庭園内の青淵文庫と  
渋澤栄一像



青淵文庫(せいえんぶんこ)は、渋澤栄一の80歳のお祝いと、男爵から子爵に昇格した祝いを兼ねて竜門社(当財団の前身)が寄贈した煉瓦及び鉄筋コンクリート造の建物です。1925(大正14)年の竣工で、栄一の書庫として、また接客の場としても使用された。



11:30 榎本ハンバーグ  
研究所

ハンバーグ専門店にて昼食



研究所を名乗るだけあり、バリエーションも豊富  
粗挽き肉と細挽き肉を配合し、パン粉より吸水性の高い麩をつなぎで使う、独自のレシピで作るハンバーグを提供

12:35 旧古河庭園に到着



邸内に大きなバラ園がありますが、残念ながら季節はずれでダメでした。

明治の政治家・陸奥宗光の邸宅だったが、二男が古河財閥の養子になり古河家の所有になった。ジョサイア・コンドル設計の洋館と小川治兵衛作庭の日本庭園がある。約 100 種 200 株のバラは、春と秋に楽しめる。



12:45 旧古河庭園にて 集合写真 (どの松にも雪釣りが芸術的に施されていた)

12:56 旧古川庭園内を散策



13:40 六義園正門に到着

徳川 5 代将軍綱吉の側用人を務めた柳澤吉保が設計し、和歌に詠まれた名勝の景観八十八カ所が造られた回遊式築山泉水庭園。内庭大門近くの樹齢約 70 年といわれるシダレザクラは幅 20m にも及ぶ。

鏡面のような池に写る景色



13:56  
池の周りを  
一回り

紅梅・白梅  
もちらほら  
咲いてまし  
た



庭園の松には雪釣りや庭木には寒さ除けが・・・



14:25 六義園の外周にそって巣鴨駅方面へ  
南側の辺は約 400mあるようです。

14:40 とげぬき地蔵への入口へ到着



江戸時代、針を誤って飲み込んだ女性に本尊の地蔵尊霊印を印した御影を飲ませたところ、針が地蔵尊霊印をつらぬいて出てきたことがとげぬき地蔵尊のいわれ。境内には洗ったところが良くなるとされる洗い観音も信仰が厚い。



洗い観音で観音様を洗う





15:00 巢鴨地蔵通り商店街で、名物塩大福を購入

15:15 巢鴨駅にて解散。  
お疲れ様でした。



寒波襲来で予報では極寒が予想され、皆さん一級の防寒対策をして、王子駅に集合しました。しかし、幸いにも風もそれほど吹かない一日で、寒いながらも王子周辺の三カ所の庭園、巢鴨のとげぬき地蔵を巡るハイキングを楽しむことができました。

吉宗と渋澤栄一に関連する飛鳥山公園、陸奥宗光の旧古河庭園、柳様吉保設計の六義園など、各種の和風庭園を楽しむことができました。桜の春、もみじの秋の季節がよい時に改めて来たいと思います。

移動と庭園散策を含めて約8～9kmのハイキングでしたが、大きなトラブルもなく無事に完了できてよかったです。参加の皆様、大変お疲れさまでした。

次回は、3月3日(金)「森林公園ハイキング」が美術工芸科の担当で開催されます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

記:加藤 治朗